

ジョージ・ヤマガタ氏 presents

第1回 オンラインセミナー

～山形 KAiGO * IRYOU Revolution～

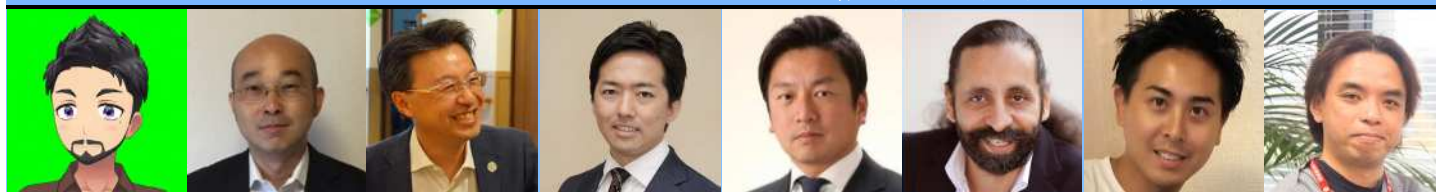
2020. 11. 16(月) 14:00～16:30

形式: Zoomによるオンライン開催

参加費: 無料

定員: 先着100名

主催: 山形県・株式会社キャリアクリエイト



ジョージ・ヤマガタ氏 青山 竜文氏 伊藤 順哉氏 大森 朝之氏 留目 真伸氏 マンジョット・ベティ氏 三浦 亮氏 峯 啓真氏

○セミナーの趣旨・目的

医療・介護を負担としてとらえるのではなく、日本の将来を支えて人々に幸福をもたらす成長産業として再構築することをコンセプトに、企業、ベンチャー、金融、行政などがそれぞれの立場でディスカッションを実施し、各分野の垣根を超えた新結合を生み出し、山形の活力に結び付けていく。

○プログラム

14:00～14:10	コンセプト紹介 (Vtuber ジョージ・ヤマガタ)
14:10～14:20	「新産業を作るということ」～100個の新産業の共創を目指すSUNDRED(株)の取り組み～ (SUNDRED(株)代表取締役 留目真伸氏)
14:20～15:00	パネルディスカッション第1部 ○ユビキタス医療介護製品と産業としての可能性について 登壇者 ・青山 竜文氏 (日本政策投資銀行 ヘルスケア室 室長) ・伊藤 順哉氏 (㈱つるかめ 代表取締役社長) ・峯 啓真氏 (㈱シェアメディカル 代表取締役CEO) ファシリテーター: 留目 真伸氏 (SUNDRED(株)代表取締役)
15:00～15:40	パネルディスカッション第2部 ○「山形 KAiGO * IRYOU Revolution」の未来 登壇者 ・大森 朝之氏 (財務省大臣官房文書課広報室長) ・マンジョット・ベティ氏 (㈱next is east代表取締役) ・三浦 亮氏 (㈱LINK 代表取締役社長) ファシリテーター: 小林 剛也 (山形県みらい企画創造部長)
15:40～15:50	休憩
15:50～16:30	登壇者毎のグループディスカッション

=申込方法=

下記URLまたはQRコードによりお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/xnPhmYkiqQMGrxeXA>

QRコード



登壇者紹介



ジョージ・ヤマガタ氏

常時山形のスタートアップシーンと世界をつなぐ男
クール&ワイルドな敏腕スタートアップ経営者で、お年寄りと子どもに優しい



青山 竜文氏 (株式会社日本政策投資銀行 ヘルスケア室 室長)

(株)日本政策投資銀行 企業金融第6部及び産業調査部 担当部長。1972年生まれ。1996年東京大学経済学部卒。同年日本開発銀行(現・日本政策投資銀行)入行。2005年米国スタンフォード大学経営大学院留学(経営工学修士)を経て、2006年よりヘルスケア向けファイナンス業務立上げに参画し、以降同業務に従事。近著は『医療機関の経営力』(きんざい)。



伊藤 順哉氏 (株式会社つるかめ 代表取締役社長)

学卒後、社会福祉法人へ入職し、特別養護老人ホームの介護職員、生活相談員、居宅介護支援員として勤務。29歳で株式会社つるかめを起業。平成16年10月に「天童デイサービスセンターつるかめ」を開設し、「できなかったことが再びできるようになる」ことをコンセプトにした自立支援型のサービス構築に取り組んできた。現在、複数の事業所を運営し、介護保険からの卒業を目指し日々リハビリテーションや運動に力を入れたサービスを提供。この度、経済産業省の「地域未来牽引企業」に山形県内の介護施設として初めて選定された。



大森 朝之氏 (財務省大臣官房文書課広報室長)

2003年財務省入省。税と社会保障の一体改革や、官民ファンドに関する予算編成、東日本大震災直後には被災地の税務署長として現場指揮を担当する。
米・コロンビア大学院に留学中、南インドの貧困問題を解決したアラビンド病院でのインターン等を通じて、医療分野での技術革新の重要性を学ぶ。
官民ファンド予算の担当時には、医療系スタートアップへの重点投資に注力。



小林 剛也 氏 (山形県みらい企画創造部長)

1997年、高校卒業後、東京水産大学入学。同年9月中退。1998年、早稲田大学政経学部入学、2003年卒業、財務省入省。主税局、理財局、主計局、大臣官房での勤務のほか、現・復興庁や国税局(熊本)、欧州復興開発銀行(ロンドン)、在ドイツ日本国大使館(ベルリン)での勤務経験を持つ。公務の傍ら、日本とドイツのスタートアップエコシステムを繋ぐ『日独スタートアッププラットフォーム』の設立・運営に携わるほか、「地域経済エコシステム」、「スマートニッチ」、「高度付加価値社会」など、目指すべき社会のコンセプトを提唱。最近では海釣りを通じて、持続可能な漁業に思いを巡らせている。



留目 真伸 氏 (SUNDRED株式会社 代表取締役)

投資家・経営者・起業家・イノベーター。総合商社、戦略コンサルティング、外資系IT等において、代表取締役社長兼CEOを含む要職を歴任。レノボ・ジャパン、NECパーソナルコンピュータ元代表取締役社長。100個の新産業の共創を目指すSUNDREDにて「新産業共創スタジオ」を運営。2019年8月VAIO株式会社のChief Innovation Officer、2020年4月VFR株式会社代表取締役社長に就任。



マンジョット・ベティ 氏 (株式会社next is east 代表取締役)

インド・ニューデリー生まれ。外交官の父の仕事で、2歳より世界各地を巡り、17歳で来日。1997年広告会社に入社。クリエイティブ・ディレクターとして数々のCMを制作。25年間の広告業界での豊富な経験の中で、伊勢神宮をはじめとする日本の魅力発信を担う一方で、トヨタ自動車/レクサスなど、数多くの日本企業のアウトバウンド施策に携わる。経営者視点でクリエイティブ戦略を立案するグローバルブランディングのプロフェッショナル。



三浦 亮 氏 (株式会社LINK 代表取締役)

1987年生まれ。26歳の時に笑顔のたねというデイサービスを立ち上げ山形で起業。介護が必要になっても前向きに自由で楽しく過ごすことができるような場所を作りたいという思いから事業作りを行う。

2020年介護業界にある「不」を少しでも解消し、誰もが安心できる未来を作るをミッションに「介護×IT」事業で新たな会社を設立。

今後は両軸で業界の課題解決を目指す。



峯 啓真 氏 (株式会社シェアメディカル 代表取締役CEO)

2006年、株式会社QLifeの創業メンバーとしてロコ病院検索QLifeを始めとした同社のWebサービスの立ち上げに参画。『収益を生む制作チーム』をコンセプトとして、医療ビジネスを多く立ち上げる。2008年iPhone上陸と同時にスマートフォンの医療分野での親和性をいち早く見だし、添付文書Pro、医療ボードProなど医療アプリの事業化に成功。より臨床現場に近い医療サービス企画を目指し2014年、株式会社シェアメディカル創業。2019年、画期的なデジタル聴診デバイス「ネクステート」を開発。さらに遠隔聴診システムの特許を取得し、映像だけではなく聴診音を加えることで遠隔診療での医師の診断精度を上げる試みを行っている。